

2025年（令和7年）
9月1日月曜日
第1987号

京都自動車新聞



京ト協 新常設委員会「始動」**2**
万博ナンバー 10月で受付終了**5**
京自販 暴力対策協議会総会**6**
KCAA京都 法人設立記念AA**8**
◀スバルショップ山城 夏祭り**7**

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内） 電話（075）672-0552 ファクス（075）682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp https://kyotojidosha-np.jp

多くの業種で減収減益傾向

京都商議所/25年4～6月期

BSI値 運輸・倉庫業など回復

府内に本社・本店がある大手・中小企業の2025年4～6月期における自社業況BSI値（経営状況の力強さ）はマイナス3・9と前期実績のマイナス8・1からやや改善したものの、依然として下降基調が続く。原材料（燃）料価格の高止まりに加え、人件費の増大や米国の通商政策に対する先行き不安など複合的要因が重なり、多くの業種で減収減益傾向となった。京都商工会議所が6月に発表した。

総合判断

業種別にみると、不動産業（マイナス25・0）などが下降する半面、サービス業（10・6）や運輸・倉庫業（5・6）が回復に転じるなど、業種によりばらつきが顕著になった。今後の予測では、一部の業種を除き、10～12月期は秋需入りへの期待感からプラスに転じる見通し。

経営動向

経常利益はマイナス5・1と低調な水準にとどまった。不動産（同25・0）や卸売業（同22・7）などで大きな落ち込みがみられた。10～12月期にかけて不

経営上の課題

依然として、原材料（燃）料高が50・8％と最多となり、15期連続の第1位。第2位は求人難（43・4％）で前期からやや上昇。第3位の受注・売り上げ不振（36・7）と第4位の人件費負担増大（35・2％）は前期から大きな変化はなかった。

調査企業からは、「米関税、ウクライナ問題で消費意欲が落ち込んでいる」（繊維）、「求人難、特に理系の新卒採用が深刻」（非鉄）、「今年に入り、トランプ政権の影響等で自社における発注量の減少や延期が発生している。自動機の導入も現時点では見合わせる動きが継続している」（精密機械）、「仕入れ・経費・資材の上昇による価格転嫁に消費者がどう反応するかが非常に心配」（食料品卸）、「DX（デジタルトランスフォーメーション）化が進まず、人件費の圧迫を招いている」（運輸・倉庫業）。

自社概況 (総合判断)		BSI値(実績・予測)			
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
総 計		▲8.1	▲3.9	▲2.0	8.5
業 種 別	製造業	▲10.1	▲6.6	0.3	6.6
	卸売業	▲15.5	▲15.9	▲8.2	5.9
	小売業	▲9.1	3.9	▲3.9	23.1
	建設業	14.0	2.0	8.0	8.0
	不動産業	▲4.6	▲25.0	▲12.5	▲6.3
	運輸・倉庫業	▲19.1	5.6	▲2.8	11.1
	サービス業	▲1.1	10.6	▲6.7	14.4

賃上げ動向

今年度の賃金について（予定を含む）、賃上げを実施すると回答した企業は76・2％で、前年度（80・4％）を下回った。一方、前年と同水準を維持する（17・0％）とした企業は前年度の15・5％からやや増加している。今回のコメントが寄せられた。

る。なお、中小企業では3年ぶりに賃金を引き下げるとの回答もみられた。賃上げを実施すると回答した企業のうち、定期昇給を実施すると答えたのは68・0％。ベースアップは57・5％だった。手当の増額・新設（15・0％）や賞与等一時金の増額（12・6％）についても少数ながら一定数の回答があった。

慢性的なトラックドライバー不足による物流・輸送力の低下に対応しようと、京都府や北部地域の各自治体、荷主企業および物流企業が連携し、持続可能な北部地域の物流ネットワーク推進に向け協議会を立ち上げた。日本海側拠点港の京都舞鶴港、北部地域の工業団地、高速道路網、モーターシフトを活用した物流モデルを構築、直面する物流課題に対する解決策を見いだしたい考え。今後、実証実験を通じ問題点などを洗い出した上で実用化させたい方針だ。

北部地域の物流ネット維持むけ協議会発足



京ト協・村尾副会長

ア。舞鶴港に加え、複数の高速道路が結節されており他地域へのアクセスに優れるほか、JR貨物の拠点も備える。一方で、人口が減少する中、物流の支え手不足が喫緊の課題となっており、われわれは公共機関としてインフラを支えていくのが使命。20年、30年先にもどのように物流ネットワークを残すのか皆さんと共に検討していききたい」と設立意義を強調した。

同協議会は、国土交通省が取り組む地域連携モーターシフト等促進事業と京ト協・村尾副会長（平島竜二会長）も幹事として参画。初会合に出席した村尾副会長は意見交換で、「人材採用が難しい中、コンプライアンス（法令順守）を前提に会員各社と襟を正し健全な業界発展に向け取り組んでいる。そのことがトラック輸送の地位を向上し、最終的には物流ネット

自治体、荷主、物流企業が連携し課題解決へ

ワークの構築、維持につながると考えている」と京ト協のスタンスを説明。

その上で、「北部から他地域へ出荷される荷物と他地域から北部に入ってくる荷物の総量把握が必要。北部はエリア特性として京都縦貫自動車道を軸に舞鶴若狭自動車道、名神高速道路、新名神高速道路など各高速道路への接続が良く、物流効率化が図れるだけでなく、ドライバーの運転時間短縮といったメリットも多い。参画されている皆さんとお互いに話し合いながらより良い物流ネットワーク構築につなげていきたい」とコメントした。

9月5日には第2回目の会合を予定しており、実証実験に向けた分科会設置や2025年度調査などを議題に挙げる。

オート ビジネスフェア

KYOTO 2025

2025
9/5
13:00
|
20:00
金

2025
9/6
9:30
|
16:00
土

京都パルスプラザ - 大展示場 -
京都市伏見区竹田鳥羽殿町 5

デモンストレーション・セミナー実施
カーディティリング関連商品の展示
スキャンツールの特設コーナー設置
特価商品を多数ご用意 輸入車展示

出展品目
特定整備（エーミング・スキャンツール）
関連機器 車検機器 ガレージ機器
ハンドツール 自整業システム 補修部品
カーディティリングサービス 各種ケミカル

株式会社大黒商会
お問い合わせ：営業推進課 前田 ☎ 075-311-0141